

授業科目(ナンバリング)		ICTを活用した教育の理論 及び方法 (QB333)		担当教員 担当形態		浦郷 淳 単独			
教員免許状取得 のための選択の別	中・高等学校:必修	単位数	1単位	開講 年次	3年	展開 方法	講義	開設 時期	前期
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目								
各科目に含める ことが必要な事項	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法								
授 業 の ね ら い									アクティブ ラーニング の 類 型
○現代社会において日々変化する情報通信技術を、教育に用いる目的とその意義について理解する。 ○情報通信技術を効果的に活用した授業や公務推進の在り方を理解し、活用できるようにする。 ○生徒が、情報通信技術(以下、「ICT」)を学習に活用できるようにするための指導法や、情報モラルを含めた情報活用能力を育成できるようにするための指導法について、基礎的な知識・技能を身に付ける。									①④⑥ ⑧⑩
ホスピタリティを 構成する能力	学生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標					評 価 手 段 ・ 方 法		評 価 比 率	
専門力	○社会の変化や急速な技術発展も踏まえ、教育における ICT 活用の意義と在り方を理解している。 ○情報モラルを含めた ICT 活用について、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間(以下「各教科等」)の特性に応じた指導事例を理解し、目的に応じて活用するための基礎的な指導法を身に付けている。					レポート 授業への参加状況とグループワークでの活動		15% 25%	
情報収集、 分析力	○ICT 活用場面や電子教科書などを取り入れた授業展開例を参考に、それらを授業の目的に応じて活用していくことができる。 ○教育情報セキュリティの重要性を理解し、学習履歴などの教育データを、目的に応じて指導や評価に活用することができる。					予習課題の取組		15%	
コミュニケーション力	○遠隔・オンライン授業の意義や関連するシステムの使用法を理解し、目的に応じて活用していくことができる。 ○ICT を用いたコミュニケーション能力育成の方法を理解し、目的に応じて活用していくことができる。					授業への参加状況とグループワークでの活動		25%	
協働・課題解決力	○ICT 支援員などの外部人材や外部機関との連携の在り方、学校における ICT 環境整備の在り方を理解している。 ○ICT を活用した校務の推進について、その目的を理解している。					レポート		10%	
多様性理解力	○支援を必要とする生徒に対する ICT 活用の意義と留意点を理解し、活用することができる。 ○個別最適な学びに活かす教育方法として、ICT の利点を理解し、目的に応じて活用することができる。					レポート		10%	
出 席 合 計						受 験 要 件 100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明									
本授業は、進化が続く ICT を目的に応じて教育現場に取り入れ、活用していくための手立てを具体的に学ぶ。評価の基準は、以下の3点とする。①社会的背景と施策上の取組、教育への活用可能な ICT の理解②目的に応じて ICT を活用する授業構想力の習得③教員側に必要な技術や知識(情報モラル)及び生徒への指導技術の習得である。これらの評価基準に対する評価手段・方法は、ア)予習課題への取組状況イ)予習課題を活用した授業への参加・グループワークへの参画状況ウ)レポートの提出状況である。予習課題やレポートについては毎回コメントをつけて返却する。									
授 業 の 概 要									
本授業は、事前課題をもとに、グループワーク・ディスカッションの場を設定し、グループ活動を通して個々の学びの充実を図る。具体的には、まず、冒頭担当教員から授業の目的や関連情報を提示する。次に、事前課題をもとに小グループに分かれ、議論・活動して考えを纏める。さらに、議論した内容を全体で共有し、担当教員から解説・補足を加える。授業後は、授業での学修成果をふまえ、事前課題に加筆し、レポートとしてまとめる。ICT を取り扱う授業であるため、グループでの活動も ICT 機器を用い、授業内容を学びつつ、実践場面で使える技術の習得を図る。このパターンを繰り返しながら、目標の達成を図る。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。									
教 科 書 ・ 参 考 書									
教科書：文部科学省(2017、2018)学習指導要領(中学校編、高等学校編)・配布プリント 参考書：稲垣忠、佐藤和紀(2021)『ICT活用の理論と実践』北大路書房 指定図書：堀田龍也、高橋純、佐藤正寿(2021)『私たちと情報 情報社会探究編』学研プラス									
授 業 外 に お け る 学 修 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と									
日々進化する ICT を活用することを考える科目であるため、ICT に関わる様々な情報に目を向け、教育に活かせる技術を見だし、その可能性を探る必要がある。予習課題においてその可能性を提案し、グループワークで深化させ、まとめたレポートで1つの成果物となることを期待する。技術を身につけながら学修し、活かせる財産として欲しい。									

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	現代社会におけるICTの变革と教育で期待される役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTの発達と、GIGAスクール構想、MEXCBTからつながる一連の教育施策との関連性を整理する。 ○BYODの可能性を踏まえた今後の活用展開を想像し、可能性のあるICTの活用方法について意見を交流する。 	<p>復：今後可能性のあるICTの活用構想を600字程度でまとめる。</p>
2	デジタル社会の歩き方	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT活用の際に必要なルールについて、現在の状況をふまえ、教員、生徒それぞれが守る必要があるルール・セキュリティについて整理する。 ○ICT活用の授業の際に必要な校内の組織づくりや、校外との連携の可能性について考察する。 	<p>予：学校のICTルールを調べ、600字程度でまとめる。 復：ICT活用促進のために校内の組織づくりで大切な事を600字程度でまとめる。</p>
3	ICT活用による学校改善と授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTを活用した校務の改善や、主体的・対話的で深い学びからの授業改善に向けた校内研究での活用方法について、その具体的方策を整理する。 ○遠隔授業やオンライン授業のメリット・デメリットについて議論し、整理する。 	<p>予・復：遠隔・オンライン授業のメリット・デメリットを600字程度でまとめる。</p>
4	生徒の状況や特性に応じたICTの活用	<ul style="list-style-type: none"> ○遠隔授業によって対応できる授業展開の可能性、授業を受ける側の可能性の広がりについて、意見を交換する。 ○特別支援教育を中心とした個の特性に応じた教育への活用について考察する。 	<p>予：特別支援教育におけるICT活用の実際を600字程度でまとめる。 復：個の特性に応じたICT活用の可能性について、600字程度でまとめる。</p>
5	目的に応じたICT活用の展開	<ul style="list-style-type: none"> ○情報活用能力について、各教科等の特性に応じた指導事例を基に議論し、整理する。 ○情報活用能力について、各教科等において、横断的に育成する導入事例を基に議論し、整理する。 ○2つの観点からの整理を基に、目的に応じたICT活用の展開について整理を行う。 	<p>予：免許状取得を希望する教科における指導事例を調べ、600字程度でまとめる。 復：ICTを活用したい指導場面の目的と活用方法を600字程度でまとめる。</p>
6	電子教科書や学習履歴を用いたICT活用の授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○電子教科書を取り入れた授業展開について、その活用の可能性について、意見を交換する。 ○セキュリティに留意した上での学習履歴の扱い方と指導への活かし方について、評価の観点から検討する。 	<p>予・復：電子教科書を用いた授業の構想を600字程度でまとめる。</p>
7	ICT活用の可能性と生徒に求めるスキル	<ul style="list-style-type: none"> ○個別最適な学びと協同的な学びにおけるICTの役割について検討する。 ○教科横断的に生徒に必要なICTスキル（モラル・操作・情報活用能力等）の整理と獲得のための指導法について意見を出し合い、検討する。 	<p>予・復：中学校の生徒が卒業までに必要だと思われるスキル（モラル・操作・情報活用能力等）を1000字程度でまとめる。</p>
8	ICTを活用した授業展開の構想とこれからの教師の役割	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでにレポートにまとめたICTを活用した授業展開例について発表する。 ○ICTの導入・深化・発展によって変わり続ける学びの姿を検討し、そこで教員が行う役割について考える。 	<p>予：これまでのレポートをまとめ、ICTを活用した授業展開例を作成する。 復：ICTの活用によって、教員の役割が今後どのようになるのかをまとめる。</p>